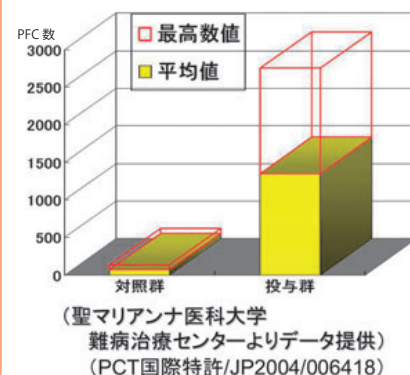


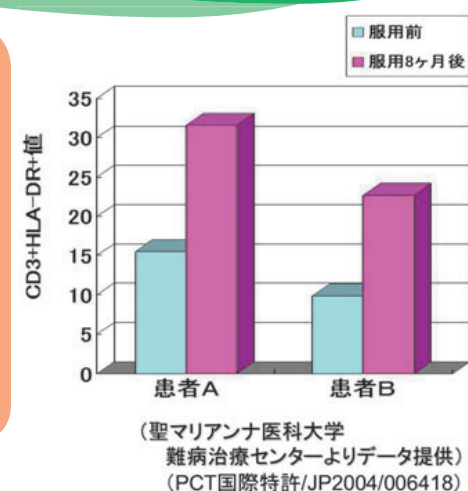
1 顕著な免疫調整・賦活作用が認められています

a) 老齢マウスに越後白雪茸濃縮エキスを1日1回0.2ml、14日間投与した結果、脾細胞における溶血斑形成細胞(PFC)数(※)を平均20倍増加させることが分かりました。

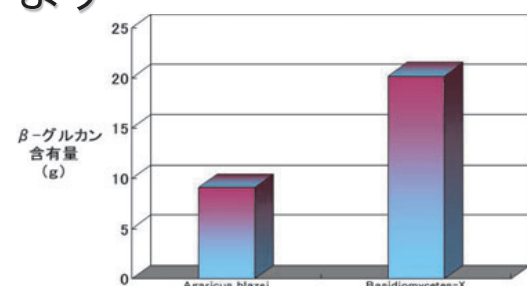
※ Jerneの方法: 抗体を産生している細胞の数を溶血斑として計数します。



b) 末期がん患者の方々に、越後白雪茸エキス1mlを8ヶ月服用していただいた結果、活性化Tリンパ球(CD3+/HLA-DR+)が2倍以上に増加しました。



2 豊富なβグルカンを含みます



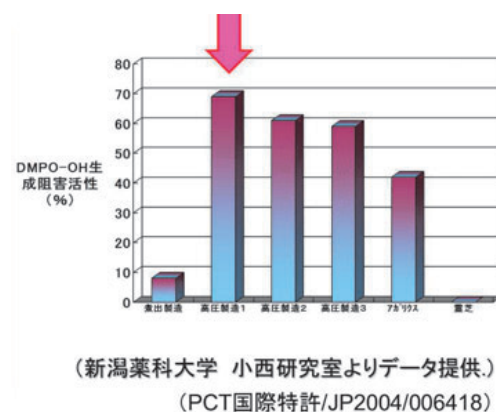
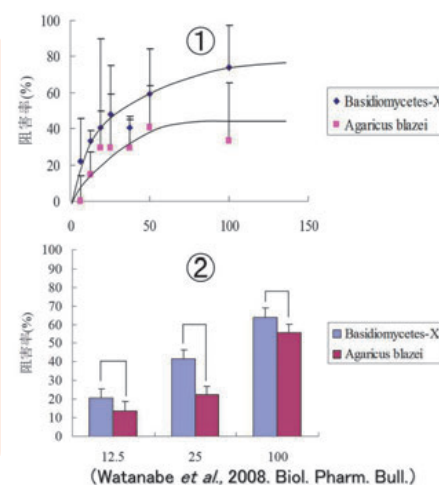
(新潟薬科大学 小西研究室よりデータ提供)
(PCT国際特許/JP2004/006418)

越後白雪茸中のβグルカン(※)含有量はアガリクス(※)の2倍以上であることが分かりました。

※ βグルカンとは、植物や菌類、細菌などを構成する多糖で、強い免疫賦活作用、抗癌作用をもつと言われています。

3 強い抗酸化活性を有します

a) 食品機能の基本である抗酸化性をリポソーム系(①)や肝臓ホモジネート(②)の脂質過酸化反応に対する抑制効果で調べた結果、アガリクスなどより強い活性を有することが分かりました。



b) 超高压処理(400MPa)により抽出した越後白雪茸エキスのヒドロキシラジカルに対する消去活性を調べた結果、他のキノコや抗酸化剤よりも強い活性を有することが分かりました。

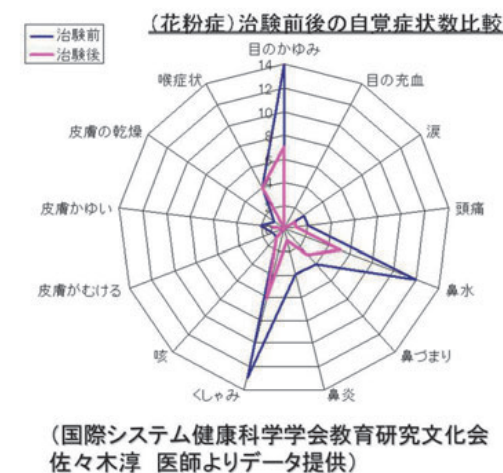
4 アトピー性皮膚炎患者や花粉症患者の生活の質及び肌状態の改善が認められました

a) アトピー患者22名に茸粉末200mgを打錠し、1回5錠1日に3回、2か月服用していただいた結果、73%の患者さん達で生活の質および肌の状態の改善が見られました。



(NPO日々黎明塾よりデータ提供)

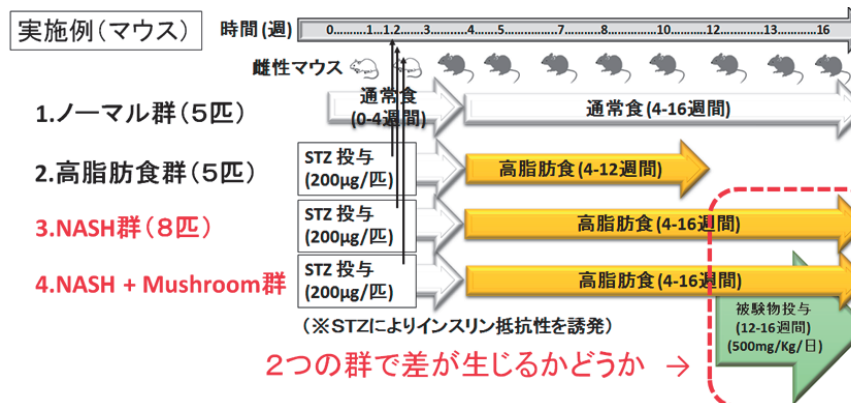
アトピーについては、下記にも論文が掲載されています。
Experimental and Molecular Pathology 105 (2018) 322-327



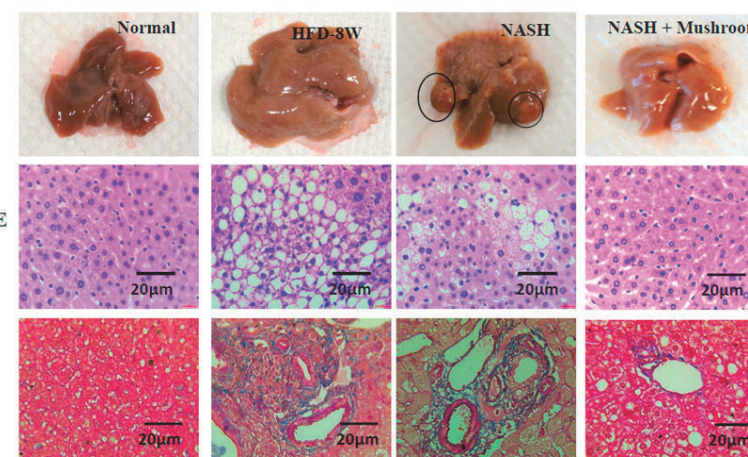
b) 花粉症患者19名に茸粉末200mgを打錠し、1日3錠を8週間服用していただいた結果、目のかゆみ、鼻水、くしゃみの症状が顕著に改善されました。

5 非アルコール性脂肪肝炎(NASH)を治療する効能が期待されています

実施例



生後およそ1週目に200 μg(/匹)のストレプトゾチン(STZ)を皮下注射(健常群除く)。生後4週間の予備飼育後、各種飼料を摂取させた。治療群には、生後12週目から16週にわたり越後白雪茸水抽出物(乾燥粉末)500mg/kgをゾンデにより一日一回経口投与し、16週目に解剖(高脂肪食群のみ12週目)。



NASHにおける肝臓炎症や線維化を止めました。特に慢性脂肪肝炎から肝硬変や肝癌への移行を予防しました。

(特願2017-020741)

越後白雪茸が世界中で認められました



マイコロジーテクノは越後白雪茸の栽培権・販売権・サプリメント等への用途特許を取得しています。